

## 「使用上の注意」改訂のお知らせ

2020年1月  
大原薬品工業株式会社  
安全管理部

パーキンソニズム治療剤  
処方箋医薬品<sup>注1)</sup>

**ドパストン<sup>®</sup> 静注25mg**

**ドパストン<sup>®</sup> 静注50mg**

**DOPASTON<sup>®</sup> FOR INTRAVENOUS USE 25mg**

**DOPASTON<sup>®</sup> FOR INTRAVENOUS USE 50mg**

(レボドパ注射液)

パーキンソニズム治療剤  
処方箋医薬品<sup>注1)</sup>

**ドパストン<sup>®</sup> カプセル250mg**

**ドパストン<sup>®</sup> 散98.5%**

**DOPASTON<sup>®</sup> CAPSULES 250mg**

**DOPASTON<sup>®</sup> POWDER 98.5%**

(レボドパ製剤)

注1) 注意—医師等の処方箋により使用すること

この度、弊社製品『ドパストン静注 25mg・50mg、カプセル 250mg、散 98.5%』の【使用上の注意】を改訂いたしますので、お知らせ申し上げます。  
今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

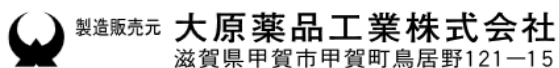
### 1. 改訂内容（改訂項目のみ抜粋）〔\_\_\_部：変更箇所（薬生安指示）〕

改訂後	改訂前
<p>【使用上の注意】</p> <p>2. 重要な基本的注意</p> <p>(1)～(5) &lt;略：現行どおり&gt;</p> <p>(6) レボドパ又はドパミン受容体作動薬の投与により、病的賭博（個人的生活の崩壊等の社会的に不利な結果を招くにもかかわらず、持続的にギャンブルを繰り返す状態）、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食等の衝動制御障害が報告されている。また、レボドパを投与された患者において、<u>衝動制御障害に加えてレボドパを必要量を超えて求めるドパミン調節障害症候群が報告されている。患者及び家族等にこれらの症状について説明し、これらの症状が発現した場合には、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。</u></p>	<p>【使用上の注意】</p> <p>2. 重要な基本的注意</p> <p>(1)～(5) &lt;略&gt;</p> <p>(6) レボドパ又はドパミン受容体作動薬の投与により、病的賭博（個人的生活の崩壊等の社会的に不利な結果を招くにもかかわらず、持続的にギャンブルを繰り返す状態）、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食等の衝動制御障害が報告されているので、<u>このような症状が発現した場合には、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。また、患者及び家族等にこのような衝動制御障害の症状について説明すること。</u></p>

## 2. 改訂理由

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長通知（令和2年1月21日付）に基づき改訂いたしました。

- ☆ 改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行「DSU 医薬品安全対策情報 No.286」に掲載されます。  
改訂後の添付文書全文につきましては、「独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ」  
(<https://www.pmda.go.jp>) 並びに弊社ホームページ (<https://www.ohara-ch.co.jp>) をご参照ください。



### 【お問い合わせ先】

大原薬品工業株式会社 安全管理部 お客様相談室  
〒104-6591 東京都中央区明石町 8-1 聖路加タワー36階  
TEL 0120-419-363 FAX 03-6740-7703